



# 出雲農林高校

平成26年度 学校要覧



Izumo Agricultural High School

# 平成 26 年度出雲農林高等学校 教育基本方針

## 1. 教育目標と教育計画

### (1) 校 訓

「**耕魂 育命**」 生命を育て、自らの魂を耕せ（育てる心と育つ心）

### (2) 教育目標

- 1 自他の敬愛 本校生徒にふさわしい自他を敬愛する態度を養う。
- 2 心身の陶冶 自立した生活人にふさわしい健全な心身を養う。
- 3 知性の涵養 社会人の形成者にふさわしい知性を身に付ける。
- 4 技能の錬磨 スペシャリストにふさわしい技術・技能を身に付ける。
- 5 勤労の尊重 職業人にふさわしい勤労する姿勢を身に付ける。
- 6 学園の平和 平和な学園を創造し、日本国民にふさわしい公共の精神を養う。

### (3) 平成 26 年度教育基本方針及び重点目標

- 1 社会に通じる人間力を持った生徒を育成する。
  - ・社会的に高く評価されるあいさつができる生徒をつくる。
  - ・部活動や生徒組織活動で活発に活動する生徒をつくる。
  - ・他者を思いやり、正しく自己主張ができる生徒をつくる。
  - ・遅刻欠席がなく時間を遵守できる生徒をつくる。
  - ・整理整頓、清掃が自らできる生徒をつくる。
  - ・基礎学力（一般&専門）が定着した生徒をつくる。
  - ・各学科における基本的知識、技能を持った生徒をつくる。
- 2 自ら学ぶ姿勢を持ち、志を持って社会貢献する生徒を育成する。
  - ・具体的な目標や達成感のある学習指導を推進する。
  - ・先進的・先導的なプロジェクト研究を推進する。
  - ・キャリアプランニングを可能にする指導を推進する。
  - ・地域を活用し、地域に貢献する連携事業を推進する。
  - ・地域に開かれた学校づくりを推進する。

(4) 学科の目標と内容

植物科学科

1. 学科の目標

大目標

園芸作物及び一般作物の栽培と経営に関する知識と技術を習得させ、植物活用の社会的な意義と役割を理解させるとともに、園芸作物および一般作物の品質と生産性の向上を図る能力と態度を育成するとともに、園芸経営や作物経営に関わる業務に従事できる農業人を育成するために、キャリア教育を推進する。

<b>具体的な進路 想定する職業</b>	島根大学生物資源科学部・島根県立大学・農林大学校・各種専門学校・種苗会社・民間企業自営(雇用就農)
<b>育てようとする価値観</b>	農業自営者・農業技術者・園芸技術者
<b>取得を目指す資格</b>	創意工夫・限りなき挑戦・生命への愛情・農業へのこだわり・農業に対する情熱 危険物取扱者・簿記検定・文書処理検定・バイオ技術者認定資格・日本農業技術検定・フラワー装飾技能検定

中目標

草花栽培コース

- 草花の特性や栽培環境および経営管理や商品に関する知識・技術の習得
- 植物バイオテクノロジーに関する基礎的知識の習得

育てようとする実践力

- ◆草花の栽培管理ができる ◆経営管理ができる
- ◆これらをとおして賢明な生産者・消費者になることができる

作物栽培コース

- 作物や野菜の特性や栽培環境および経営管理や商品に関する知識・技術の習得
- 食の安全性や労働生産性の向上を図る能力と態度の育成

育てようとする実践力

- ◆作物の栽培管理ができる ◆経営管理ができる
- ◆これらをとおして賢明な生産者・消費者になることができる

小目標

草花栽培コース

- 植物を活用することで園芸デザインに必要な知識・技術を習得させる
- 無菌播種や組織培養を体験させることで関心や意欲を養う
- 草花の持つ力を発揮させ、よい商品として必要な方法を理解させる
- 栽培や増殖の楽しさや経営の面白さを体験させることで関心や意欲を養う

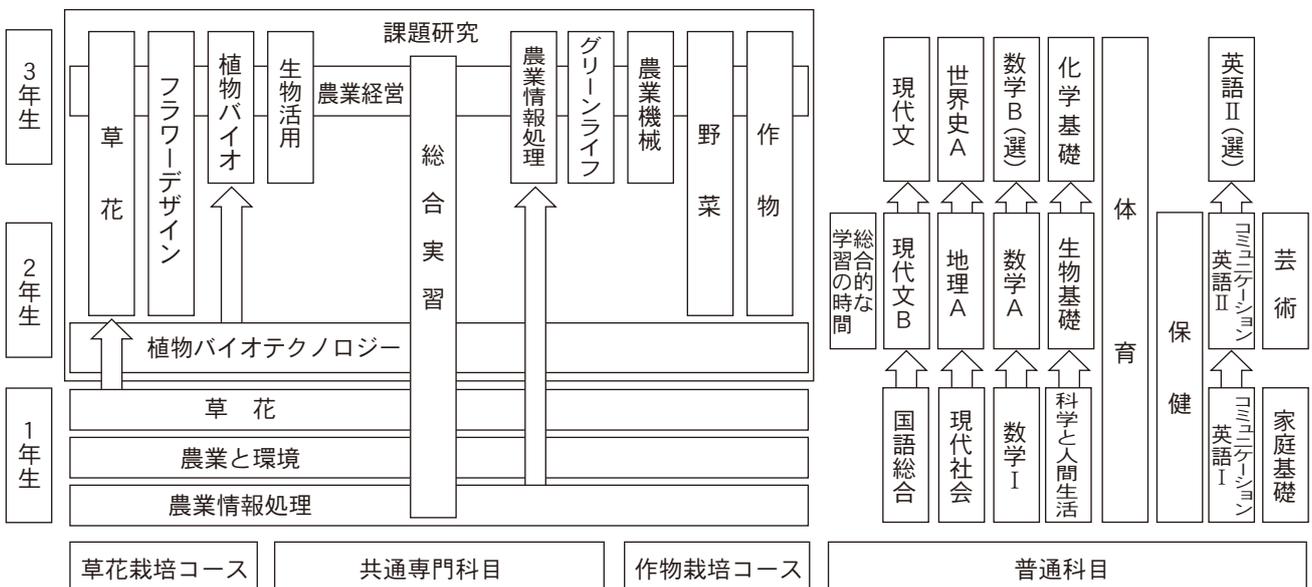
作物栽培コース

- 作物のもつ力を十分に発揮させ、良い商品の作り方を理解させる
- 稲作の水管理や野菜の灌水、病虫害防除に関する知識・技術を習得させる
- 作物や野菜栽培の楽しさや経営の面白さを体験させることで、関心や意欲を養う

2. 目標（キャリア教育）達成のための取り組み

	実習方法の特徴	方法・工夫・手段		実習方法の特徴	方法・工夫・手段
1	実験・実習	学んだことを実験・実習を通して確認する	4	課題研究	チャレンジショップの運営
2	プロジェクト学習	学んだことをさらに深めて研究していく	5	県内視察研修 県外視察研修	県内外の産業視察を行い勤労観を育成する
3	インターンシップ	地域の農業・関連産業で実習をとおして学ぶ	6	資格取得	補習授業の実施

3. 学習内容の特徴とカリキュラム



# 環境科学科

## 1. 学科の目標

### 大目標

地域社会の基盤整備に関する知識・技術を習得させ、社会的な意義や役割を理解させるとともに、キャリア教育を推進し農業土木や造園や森林管理に関わる業務に従事できる農業人を育成する。基礎基本を繰り返し行い、臨機応変に対応する力を育成する。

<b>具体的な進路</b>	島根大学生物資源科学部、東京農業大学地域環境科学部、南九州大学環境造園学部、鳥取環境大学環境デザイン学科等
<b>想定する職業</b>	測量・土木・造園技術者、森林管理者、建設機械オペレーター、国家・地方公務員(土木・農業土木職)等
<b>育てようとする価値観</b>	自然環境や生活環境に関心を持ち、物造りに取り組む姿勢
<b>取得を目指す資格</b>	測量士補、土木・造園施工管理技術検定、レタリング検定、各種建設機械運転免許等

### 中目標

#### 環境土木コース

土木の設計・施工に関する知識と技術を習得させ、農業・農村基盤整備にかかわる業務に従事する者として必要な測量、設計、施工の能力と態度。

<b>専門的・職業的実践力</b>	
◆測量業務、CAD製図ができる。	
◆コンクリートの配合ができる。	
<b>一般的・生活的実践力</b>	
◆簡単な土木作業ができる。	

#### 造園デザインコース

造園の設計・施工・管理及び森林科学に関する知識と技術を習得させ、造園施工や森林管理にかかわる業務に従事する者として必要な能力と態度。

<b>専門的・職業的実践力</b>	
◆作庭・生け垣造りや樹木の移植・剪定ができる。	
◆育林や造林ができる。	
<b>一般的・生活的実践力</b>	
◆ガーデニングや簡単な剪定ができる。	
◆花壇のデザインができる。	

### 小目標

#### 環境土木コース

○地域社会の基盤整備に必要な基礎的な土木技術を身に付けた人材を育成。

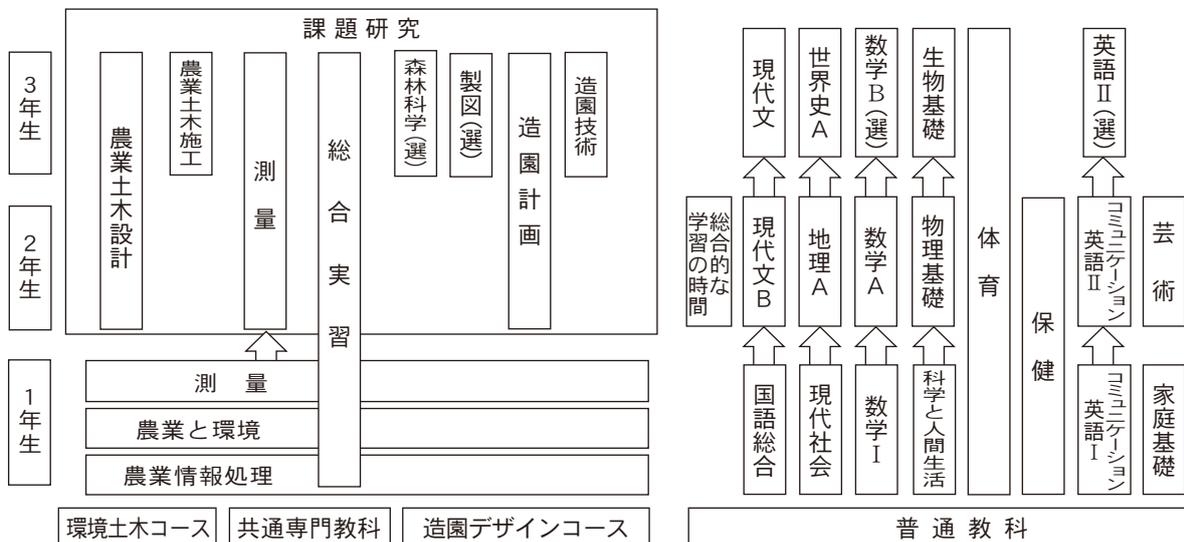
#### 造園デザインコース

○庭園・公園・街路施工等に必要な基礎的な土木・造園技術を身に付けた人材を育成。

## 2. 目標達成（キャリア教育推進）のための取り組み

	実習方法の特徴	方法・工夫・手段		実習方法の特徴	方法・工夫・手段
1	実験実習	外部講師(OB・OG)による講話、実技指導等	4	インターンシップ	建設業協会、地元企業(土木、造園)との連携
2	チャレンジショップの運営	CSの運営を通し、コミュニケーション能力の育成	5	建設現場見学会	国土交通省との連携
3	県内視察研修 県外視察研修	関連産業の施設や現場の見学による勤労観や職業観の育成および進路選択能力の育成	6	資格取得	補習授業の実施、講習会の開催等

## 3. 学習内容の特徴とカリキュラム



# 食品科学科

## 1. 学科の目標

### 大目標

食品加工・食品栄養・衛生管理に関する知識と技術を習得させ、食品生産の社会的意義や役割を理解させるとともに、キャリア教育を推進し、食品に関わる総合的な業務に従事できる農業人を育成する。

<b>具体的な進路</b>	島根県立大学(看護)、島根県立大学短期大学部(保育、総合文化)、鳥取短期大学(食物栄養)、山口短期大学(児童教育)、比治山大学短大部(幼児教育)、美作大学短期大学(幼児教育)、大阪成蹊短期大学(栄養)、島根県立農林大学校(果樹)、兵庫栄養調理製菓専門学校、神戸国際調理製菓専門学校、大阪あべの辻調理師専門学校、穴吹調理製菓専門学校、松江調理製菓製パンカレッジ、出雲看護医療専門学校、トリニティーカレッジ、島根県立東部高等技術校、自衛隊、食品製造会社など
<b>想定する職業</b>	管理栄養士、食品製造業者、調理師、ブドウ栽培(自営)
<b>育てようとする価値観</b>	食品に対する総合的な関心、食品の管理や生産に取り組む意欲
<b>取得を目指す資格</b>	食生活アドバイザー、乙種・丙種危険物取扱者、文書処理検定、二級ボイラー技士、日本農業技術検定など

### 中目標

#### 食品化学コース

野菜を主とした農産加工と、食品の成分・品質変化及び分析に関する専門的な知識・技術を習得させる。

#### 食品醸造コース

地域性のある果樹を主とした農産物の栽培・加工・流通及び微生物を利用した醸造食品製造に関する知識・技術を習得させる。

#### 専門的・職業的実践力

- ◆主要な栄養成分の基礎的な定性分析・定量分析ができる。
  - ◆主な加工食品の製造の一連の加工作業ができる。
- #### 一般的・生活的実践力
- ◆主要な栄養成分に関する知識により健康的な食生活の設計ができる。
  - ◆家庭にある器具を使って食品の加工ができる。

#### 専門的・職業的実践力

- ◆ブドウを主とした果樹栽培・農場管理ができる。
  - ◆主な醸造食品の製造の一連の加工作業ができる。
- #### 一般的・生活的実践力
- ◆家庭菜園での果樹の栽培ができる。
  - ◆家庭にある器具を使って醸造食品の加工ができる。

### 小目標

#### 食品化学コース

- 食品を幅広く加工・利用するための実験・実習の基本的な技術・心構えを習得させる。
- 瓶詰・缶詰などの農産加工食品についての基本的な知識・技術・心構えを習得させる。

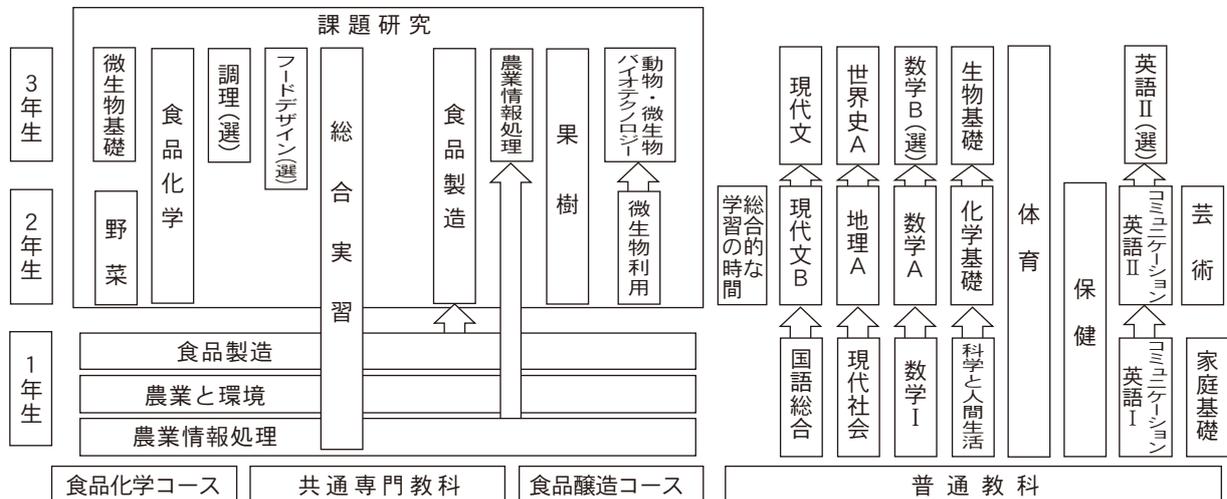
#### 食品醸造コース

- デラウェア・ピオーネなどのブドウ栽培からワイン醸造までの知識・技術を習得させる。
- 味噌、パン、漬物類などの醸造食品についての基本的な知識・技術・心構えを習得させる。

## 2. 目標達成(キャリア教育推進)のための取り組み

実習方法の特徴	方法・工夫・手段	実習方法の特徴	方法・工夫・手段
1 実験実習中心の授業	平均して授業の半分以上を実験実習とする。	5 チャレンジショップ	2年生におけるチャレンジショップの運営
2 一人一研究	一人または二人一組でプロジェクト研究活動を行う。	6 県内視察研修 県外視察研修	地域の関連産業、事業内容、社会人としてのマナーやルール並びに勤労観・職業観の育成を図り、進路選択能力を育てる。
3 地域の食文化の学習	「そば打ち」「和菓子実習」などを通して、地域の食文化を体験的に学ぶ。	7 専門的職業人の育成	地域特産品を利用した新しい加工食品の開発研究を通して、実践力を身に付け、将来を担う農業人を育成する。
4 インターンシップ	地域と連携して食品関連会社での実習を行う。	8 資格取得	補習授業の実施、講習会の開催等。

## 3. 学習内容の特徴とカリキュラム



# 動物科学科

## 1. 学科の目標

### 大目標

動物の飼育管理、経営に関する基礎的な知識と技術を習得させ、動物活用に関する社会的な意義と役割を理解させる。また、関連する諸問題を考察し、改善・向上していこうとする実践的な能力と態度を養い、畜産経営や動物活用など動物に関する業務に従事できる農業人を育成する。

具体的な進路(進学)	島根大学・帯広畜産大学・琉球大学・酪農学園大学・日本大学・東京農業大学・明治大学・島根県立大学・酪農学園短期大学・鳥取短期大学・島根県立農林大学校・鳥取県立農業大学校・中国四国酪農大学校・岡山理科大学専門学校・広島アマルケア専門学校・松江総合ビジネスカレッジ・大阪ベビィ動物看護専門学校・ナンバペット美容学院・神戸動物植物環境専門学校・東京コミュニケーションアート専門学校 など
" (就職)	動物園・ペットショップ・食肉公社・牧場(牛、馬)、養鶏業
" (自営)	酪農家・和牛飼育農家
想定する職業	農業自営者・農業技術者・動物看護師・トリマー・動物飼育員
育てようとする価値観	創意工夫・限りなき挑戦・生命への愛情・学びへの意欲、好奇心・農業に対する情熱
取得を目指す資格	愛玩動物飼養管理士2級・危険物取扱者・バイオ検定・簿記検定・各種建設機械運転免許 等

### 中目標

#### 産業動物コース

感性をフル活用した学習をもとに産業動物と畜産加工に関する基礎的な知識・技術を習得させ、合理的な家畜管理と生産性の向上及び地域理解と支援を図る人材を育成する。

#### 育てようとする実践力

- ◆産業動物の適切な飼育管理ができる。
- ◆畜産および畜産関連産業の経営管理ができる。
- ◆動物飼育、畜産加工実習をとおして、賢明な生産者・消費者になることができる。
- ◆状況に応じて「気付き」「考え」「行動」できる。

#### 社会動物コース

感性をフル活用した学習をもとに社会動物の飼育に関する基礎的な知識と技術を習得させ、社会動物と社会の関わりを理解させ、効果的な管理と活用を図る人材を育成する。

#### 育てようとする実践力

- ◆社会動物の適切な飼育管理ができる。
- ◆動物に関する基礎的な実験を確実にできる。
- ◆動物の適正飼養についてアドバイスができる。(地域へのアマルセラピーの啓発・志を持った社会貢献)
- ◆状況に応じて「気付き」「考え」「行動」できる。

### 小目標

#### 産業動物コース

- 体験的な学習を効果的に導入し、産業動物の特性、飼料給与及び会計管理とマーケティングに関する知識を理解させ、生産性の向上を図ることが出来る能力と態度を育成する。
- 体験的な学習を効果的に導入し、畜産加工に関する原材料の特性、加工原理、衛生・品質管理を理解させ、品質と生産性の向上を図ることが出来る能力と態度を育成する。

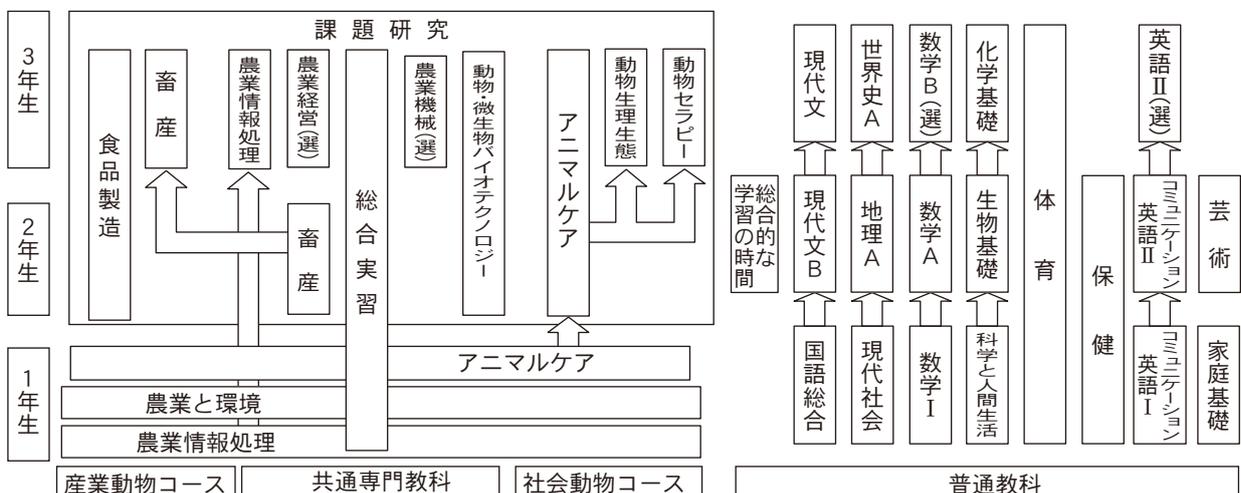
#### 社会動物コース

- 体験的な学習を効果的に導入し、人間生活における社会動物の意義と役割を理解させ、セラピー等を通して人と動物の交流活動を行える能力と態度を育成する。
- 体験的な学習を効果的に導入し、産業社会でのバイオテクノロジーの役割を理解させ、その技術を積極的に活用できる能力と態度を育成する。

## 2. 目標達成(キャリア教育推進)のための取り組み

学習方法の特徴	方法・工夫・手段		学習方法の特徴	方法・工夫・手段
1 実験・実習	座学で学んだ知識を実験・実習を通して確認し、自分の「技」を習得する。	5	視察研修	地元の動物関連研究施設等を見学することで先進技術を習得する。
2 プロジェクト学習	各自でテーマを決め、研究を深めることで自ら学ぶ姿勢と課題解決能力、社会性を育成する。	6	移動動物園・共進会の参加	日頃の学習成果を地域で発表し、さらに向上するための課題を発見する能力を育成する。
3 インターンシップ	畜産研究施設、動物病院、ペットショップなど地域の企業で実習しながら知識と技術を習得する。	7	資格取得	補習授業の実施、講習会へ参加をする。
4 県内視察研修 県外視察研修	関連産業施設を見学することで勤労観・職業観の育成を図り、進路選択能力を育成する。			

## 3. 学習内容の特徴とカリキュラム



(5) 各教科・科目の目標と内容

教科	科目	目 標	内 容	授業ビジョン
農 業		農業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、農業の社会的な意義や役割について理解させるとともに、農業に関する諸課題に主体的、合理的に、かつ倫理観をもって解決し、持続的かつ安定的な農業と社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる。	(1) 農業の各分野に共通する科目 (2) 農業の経営と食品産業に関する分野 (3) バイオテクノロジーに関連する分野 (4) 環境創造と素材生産に関する分野 (5) ヒューマンサービスに関連する分野	実験・実習を重視して、①自ら学ぶ姿勢、②コミュニケーション力、③自己管理能力を向上させる授業を展開する。
	国語総合	国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めると共に、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重して向上を図る態度を育てる。	(1) 現代文・古文・漢文 (2) 論理的文章と近代的文章 (3) 言語活動（話す・聞く・書く・読む）	現・古・漢のバランスに配慮しつつ、読解指導に加え、音読・漢字指導にも重点を置き展開する。
国 語	現代文	近代以降のさまざまな文章を読む能力を高めるとともに、ものの見方・感じ方・考え方を深め、進んで表現し読書することによって、人生を豊かにする態度を育てる。	(1) 近代以降の論理的な文章（読解と考察） (2) 近代以降の文学的文章（読解と考察） (3) 現代語による言語活動（表現）	読解指導に加え、音読・作文などの実践にも重点を置く。
	現代文B	近代以降のさまざまな文章を読む能力を高めるとともに、ものの見方・感じ方・考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。	(1) 構成、展開、要旨などを的確にとらえ、論理的性を評価する。 (2) 書き手の意図や心情描写を的確にとらえて表現を味わう。 (3) 人間、社会、自然などについて自分の考えを深める。 (4) プレゼンテーションの効果的な方法を学ぶ (5) 語彙を豊かにし、表現上の特色をとらえて自分の表現に役立てる	読解指導に加え、音読・作文・プレゼンテーションの実践にも重点を置く。
地理歴史	地理A	現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。	(1) 現代世界の特色と地理的技能 (2) 現代世界および生活圏における諸課題の地理的考察	地球儀や地図を有効に活用することにより、ビジュアル的視点から地理的な考察力を培う。
	世界史A	近現代史を中心とする世界の歴史を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させ、現代の諸課題を歴史的観点から考察させるとともに、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。	(1) 諸地域世界の成立と発展 (2) ユーロピアの交流圏 (3) 一体化に向かう世界 (4) 19世紀の世界の形成と発展 (5) 現代の世界と日本	授業では読む力に重点を置き、文章把握を通じて歴史の流れや歴史事象が起こった必然性を理解させる。
公 民	現代社会	人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的問題について主体的に考察し公正に判断すると共に自ら人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。	(1) 現代に生きる私たちの課題 (2) 現代社会と人間	現代社会の諸課題に対する認識・理解を深めるために、文章を読んだり、自分の考えをまとめたり、発表することに重点を置く。
数 学	数学I	数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。	(1) 数と式 (2) 図形と計量 (3) 二次関数 (4) データの分析	解答に至るまでの考え方や計算手法などをまとめ、発表することに重点を置く。
	数学A	場合の数と確率、整数の性質又は図形の性質について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を養い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。	(1) 場合の数と確率 (2) 整数の性質 (3) 図形の性質	解答に至るまでの考え方や計算手法などをまとめ、発表することに重点を置く。
	数学B	数列又はベクトルについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。	(1) 平面上のベクトル (2) 空間のベクトル (3) 数列	解答に至るまでの考え方や計算手法などをまとめ、発表することに重点を置く。
理 科	科学と人間生活	自然と人間生活のかかわり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な事象・現象に関する観察、実験などを通して理解させ、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。	(1) 物質の科学 (2) 熱や光の科学 (3) 生命の科学 (4) 地球や宇宙の科学	身の周りの科学技術や自然現象に興味関心を持ち、これからの科学と人間生活とのかかわり方について考察する力を身につけることに重点を置く。
	物理基礎	日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探求する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。	(1) 直線運動の世界 (2) 力と運動の法則 (3) 日常に潜む力 (4) 仕事とエネルギー (5) 熱 (6) 波 (7) 電気 (8) エネルギー	物理学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、身近な物理現象やエネルギーへの関心を高めることに重点を置く。
	化学基礎	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探求する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。	(1) 物質の探求 (2) 物質の構成粒子 (3) 物質と化学結合 (4) 物質量と化学変化 (5) 酸と塩基 (6) 酸化と還元	化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、身近な物質とその変化への関心を高めることに重点を置く。
	生物基礎	生物の観察・実験を通して、自然に対する関心や探求心を高め、生物学的に探求する能力と態度を身につける。また、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を養う。	(1) 生物の特徴 (2) 遺伝子とそのはたらき (3) 生物の体内環境の維持 (4) 生物の多様性と生態系	生物についての知識を深め、生命の大切さを理解することに重点を置く。
保 健	体育	心と体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的、計画的な実践を通して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てる。	A 体づくり運動 B 器械運動 C 陸上競技 D 球技 E 武道 F ダンス G 体育理論	リーダーの育成に力を入れ、生徒が自主的・主体的に学習に取り組み、活気ある活動を展開する。
	保健	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。	(1) 現代社会と健康 (2) 生涯を通じた健康 (3) 社会生活と健康	具体物や適切な資料などの提示を通して理解を深め、自ら考え積極的に発言が生まれる授業を展開する。
芸 術	音楽I	音楽の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。	歌唱、器楽、創作などの音楽表現と音楽鑑賞	創造的な表現をするための技能を身に付け、主体的に音楽活動を行う。
	美術I	美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。	絵画・造形表現を主体とした実技と美術作品などの鑑賞	絵画基礎を軸にデザイン工芸へと展開する
	書道I	書道の幅広い活動を通して、書を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、書写能力を高め、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばす。	臨書・創作を主とした実技と書道作品の鑑賞	文字を媒体とした自己表現活動をする。
外国語	コミュニケーション英語I	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。	生徒が情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するように具体的な言語の使用場面を設定して、事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする言語活動を英語で行う。	生徒が英語に触れる機会を充実し、授業を実際のコミュニケーションの場として、基本的な表現を定着させ、コミュニケーション能力を高める。

教科	科目	目 標	内 容	授業ビジョン
外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。	生徒が情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するように具体的な言語の使用場面を設定して、事物に関する紹介や対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする言語活動を英語で行う。	コミュニケーション英語Ⅰの内容を復習しつつ、身につけた基礎力を応用してコミュニケーション能力をさらに養う活動をさせる。
	英語Ⅱ	幅広い話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える能力を更に伸ばすとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。	日常的な話題について聞いたことや読んだことを理解する。目標情報や考えなどを英語で表現する基本的な能力を養う。英語でコミュニケーションを図ろうとする態度を育てるなどの「英語Ⅰ」の内容に示すコミュニケーション活動を更に発展させて行う。	英語Ⅰの内容を復習しつつ、身につけた基礎力を応用して使えるような活動をさせる。
家庭	家庭基礎	人の一生と家族・福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。	(1)人の一生と家族 (2)子どもと (3)高齢者とともに (4)人のつながりと福祉 (5)くらしのなかの「食」「住」「消費」 (6)快適な生活と環境	実験・実習や視聴覚を多く取り入れた展開とする
	フードデザイン	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識と技術を習得させ、食事を総合的にデザインする能力と態度を育てる。	(1)食生活の充実・向上 (2)健康・栄養・食物 (3)献立と調理 (4)調理実習	調理技術を高めるために実験・実習を多く取り入れた展開とする
	調理	様式別調理、集団調理などに関する知識と技術を習得させ、食生活の向上を図るとともに、創造的に調理する能力と態度を育てる。	(1)調理の基本 (2)調理の種類と献立	調理技術や献立作成能力を高めるために実習を多く取り入れた展開とする。

## (6) 学年の目標

学年	目 標
1年	<p>人との係わりの中で確かな自分を感じ、将来を見据えた生活ができる生徒を育成する。</p> <p>(1) 基本的な生活習慣を確立させる。 ・服装、頭髪等の乱れない生活をさせ、遅刻をしなないなど時間やルールを遵守した生活習慣づくりをさせる。 ・整理整頓、清掃に熱心に取り組むことで公共心を育てる</p> <p>(2) 豊かな人間関係を構築させる。 ・HR活動を中心に、いじめがなく、支え合う人間関係のあるクラス作りをさせる。 ・一人ひとりの人権意識を高めるとともに、挨拶の励行や敬語の使用など適切なコミュニケーション能力を身につけさせる。 ・LINEやツイッターなど適切なSNSの活用を通し、よりよいコミュニケーションの方法を考えさせる。</p> <p>(3) 学習意欲を高め、学習理解を深めることにより、基礎学力の定着を図る。 ・各教科担当者と連携し、意欲的に授業に参加させる。・マナトレや漢字検定を利用し家庭学習時間の確保に努めさせる。 ・提出物を期限内に提出させる。・定期試験に向けて意識を高める。</p> <p>(4) 自ら課題を見つけ、課題を解決していく実践力を培わせる。 ・専門科と連携し、実習や農場当番への積極的な参加を図る。・農業技術鑑定競技や各種資格取得に積極的に向かわさせる。</p> <p>(5) 充実した学校生活を過ごさせる。 ・学校行事や部活動へ積極的に参加させる。・一人一役をさせ、所属感や自己肯定感を育成する。</p> <p>(6) 自己理解を深め、自らの進路について意識を高め、進路実現に向けた取組みをさせる。 ・進路学習を通して、3年間を見通したキャリアプランニングをさせる。</p>
2年	<p>1. 社会に通じる人間力を持った生徒を育成する。</p> <p>○コミュニケーション力</p> <p>(1) 心のこもった挨拶や礼儀・適切な言葉遣いなどを身につけさせる。 (2) インターンシップやチャレンジショップ等の経験を通して社会性や自己表現力の向上に努めさせる。 (3) 学校行事・生徒会活動等へ主体的に取り組む、全員が部活動・農業クラブ活動・家庭クラブ活動のいずれかへの参加を促す。 (4) お互いを認め合い、学びあう雰囲気醸成しつつ、自他の人権を尊重し、いじめを解決できるクラスを目指す。 (5) HR活動を通して人権・同和教育に対する正しい理解・認識を深め、差別に気づき、許さない態度を育成する。</p> <p>○自己管理能力</p> <p>(1) 自己の健康管理・時間管理を励行させ、遅刻・欠席をなくす。 (2) 身だしなみに気をつけ、服装や髪型を自ら整える習慣を付けさせる。 (3) 教室・実習室・ロッカーなど身の回りの整理整頓に努め、自ら進んで清掃に取り組む姿勢を育成する。</p> <p>○学力</p> <p>(1) 具体的な学習目標を決め、その実行・達成に向けて努力する態度を育成する。 (2) 課題や提出物を必ず期限を守って出す習慣を身につけさせる。 (3) マナトレの実施を通して、社会に出ても通用する基礎学力を定着させる。</p> <p>2. 自ら学び、学ぼうとする姿勢を持ち、志を持って社会貢献する生徒を育成する。</p> <p>○キャリア教育の推進</p> <p>(1) インターンシップやチャレンジショップ・県外視察研修を通して自己理解や職業理解を促す。 (2) 資格取得へ積極的に挑戦させる。危険物取扱者などの資格を全員1つは取得することを目指す。農業技術検定3級の全員受験など、資格試験に向けての支援を充実させる。 (3) 進路説明会等を通して積極的に情報を収集させる。オープンキャンパスへの参加や、職業調べ・職場体験などへの取り組みを勧め、早期の進路目標の決定につなげる。</p>
3年	<p>自己実現の達成に向け、主体的な取り組みができる生徒を育成する。</p> <p>1. 自ら考え、自ら学ぼうとし、自覚と責任ある行動が実践できる生徒の育成</p> <p>(1) 生活場面に応じた適切な行動の実践 ・身だしなみを正すなど規範意識を持ち、最高学年として他の模範となる生活態度を実践させる。 ・挨拶の励行、敬語をはじめ適切な言葉づかいを通して、社会で通用するコミュニケーション力を高めさせる。</p> <p>(2) 自己実現に向けた生活の実践 ・各種行事で中心的な役割を担い、リーダーシップを発揮させる。・生活時間の厳守、私物の整頓など、自己管理能力を身につけさせる。</p> <p>2. 自己実現の達成に向け、授業に集中し、主体的に学習理解に努める態度を育成</p> <p>(1) 高い探求心を持ち、学習の総仕上げに前向きに取り組むことができる生徒を育てる。 ・各教科と連携し、課題への取り組みを促し、家庭学習の習慣を身につけさせる。・プロジェクト学習や課題研究など、充実した成果があげられるよう支援する。</p> <p>(2) 資格取得に意欲的に取り組む生徒を育てる。 ・資格取得に前向きに取り組ませ、自己実現に結びつける努力をさせる。</p> <p>3. 希望進路の実現に向け主体的な取り組みができる生徒の育成</p> <p>(1) 進路学習を通し、情報の収集や分析を意欲的に行う生徒を育てる。 ・学年集会やHR活動の指導を通し、積極的な進路決定への取り組みをさせる。 ・一般常識テスト、基礎力テストを有効活用し進学就職試験に必要な学力を着けさせる。</p> <p>(2) 進路に関する諸行事に主体的に取り組む、進路決定に役立てることができる生徒を育てる。 ・進路ガイダンス、オープンキャンパス、職場訪問への積極的な参加を促し、自発的な進路決定に努力させる。</p> <p>4. 互いを認め合い、自己実現に向けた前向きな人間関係を構築する。</p> <p>(1) 個性や立場を認め合い、社会貢献できる生徒を育てる。 ・差別やいじめのないクラスづくりを推進する。・地域のボランティア活動など諸行事に積極的に参加させる。 ・進路決定に協力し合える仲間づくりを推進する。</p> <p>(2) 人権同和教育に対する正しい認識を深め、生徒ひとりひとりに差別を許さない態度を育てる。 ・HR活動を通して人権意識を深め、意欲を持って進路を切り拓くことができる生徒を育てる。</p> <p>(3) 特別支援教育コーディネーターと連携し、良好な人間関係や学習活動ができるよう支援する。</p>



## (2) 教育課程の特色

### 1. 学科制

農業の各分野の専門的職業人を育成するために4つの学科を設けている。

### 2. コース制

各学科を2年次から2つのコースに分け、専門学習がより可能なシステムにしている。

### 3. 専門性の深化

1年次の専門科目を4科目11単位(環境科学科は10単位、時間外を含む)とするなど専門性の深化を図っている。

### 4. プロジェクト学習と卒業論文の作成

1年次の農業科学基礎等の基礎科目でプロジェクト学習について学び、2・3年生の課題研究のプロジェクト活動を通して卒業論文を作成する。

### 5. 体験的な学習

専門科目の時間の半分は、実験・実習などの体験的な学習が行えるようにしている。

### 6. 少人数指導

教育課程の3分の1の時間は少人数で学習できるように編成している。

### 7. チームティーチング(TT)による指導

実技を伴う科目についてはTTによる指導により確実な技術習得に向けたシステムで実践している。

### 8. 学校設定科目

学科の目標を達成するために必要な教科内容について、5科目の学校設定科目を設けている。

### 9. キャリア教育

職業・進路・働き方などの研究を行うなど、教育課程の全般でキャリア教育を推進している。

## (3) 学習指導の特長

### ベル入ベル着

始業ベルと同時に着席し、授業に入る。

### 音読と黙読

授業で教科書や資料を音読するとともに黙読も行う。

### 1授業40言

授業内で誰もが一度は発言する。

### 少人数学習

専門科目の実験・実習やプロジェクト学習をはじめ少人数学習を行う。

### 1人1畑1ノート

個人が責任を持って管理し、記録する学習を行う。

### 卒業論文

プロジェクト活動の論文を完成させて卒業する。

## (4) 生活時程表

	生活時程表 (通常時程)	生活時程表 (短縮時程)	生活時程表 (全校朝礼時程)
朝 礼	8:40~ 8:50	8:40~ 8:50	8:40~ 9:00
清 掃	8:50~ 9:00	8:50~ 9:00	9:10~ 9:20
1 限	9:05~ 9:55	9:05~ 9:50	9:25~10:10
2 限	10:05~10:55	10:00~10:45	10:20~11:05
3 限	11:05~11:55	10:55~11:40	11:15~12:00
4 限	12:05~12:55	11:50~12:35	12:10~12:55
昼 食	12:55~13:40	12:35~13:20	12:55~13:40
5 限	13:40~14:30	13:20~14:05	13:40~14:30
6 限	14:40~15:30	14:15~15:00	14:40~15:30
終 礼	15:30~15:40	15:00~15:10	15:30~15:40

(5) 教育課程表

平成 24 年度入学生  
植物科学科

教科	科 目	標準 単位 数	学年別単位数					備考	
			1年	2年		3年			計
				草花 栽培	作物 栽培	草花 栽培	作物 栽培		
国語	国語総合	4	4					4	
	現代文	4		2	2	2	2	4	
地理 歴史	世界史 A	2				2	2	2	
	地理 A	2		2	2			2	
公民	現代社会	2	2					2	
数学	数学 I	3	3					3	
	数学 A	2		3	3			3	
	数学 B	2				7/2	7/2	0~2	選択
理科	科学と人間生活	2	2					2	
	化学基礎	2				2	2	2	
	生物基礎	2		2	2			2	
保健 体育	体育	7~8	2	2	2	3	3	7	
	保健	2	1	1	1			2	
芸術	音楽 I	2		7/2	7/2			0~2	
	美術 I	2		7/2	7/2			0~2	
	書道 I	2		7/2	7/2			0~2	
外国 語	英語 I	3	3					3	
	英語 II	4		3	3	1/2	1/2	3~5	3年次は選択
家庭	家庭基礎	2	3					3	
情報	情報 A	2		(2)					「農業情報処理」 2単位で代替
普通教科単位数計			20	17	17	9~13	9~13	46~50	
農業	農業科学基礎	2~6	3					3	
	課題研究	2~6		2	2	3	3	5	「総合的な学習の時間」 5単位で代替
	総合実習	2~12	4	4	4	4	4	12	
	農業情報処理	2~8		2	2	2	2	4	2年次「情報A」 2単位で代替
	作物	2~6	2		2		2	2~6	
	野菜	2~8			2		3	0~5	
	草花	2~8		2			3	0~5	
	農業経営	2~6				2	2	2	
	農業機械	2~6					2	0~2	
	植物バイオテクノロジー	2~6	2			2		2~4	
	生物活用	2~6				7/2	7/2	0~2	選択
	グリーンライフ	2~6				1/2	1/2	0~2	選択
	フラワーデザイン	学校設定科目		2		2		0~4	
起業実践	学校設定科目		3	3			3		
専門教科単位数計			11	15	15	18~22	18~22	44~48	
総合的な学習の時間				(2)	(2)	(3)	(3)	(5)	「農業課題研究」 5単位で代替
ホームルーム週当たり時数			1	1	1	1	3		
単位数及び週当たり時数の合計			32	33	32	32	97		

学校設定科目単位数		5	3	2	0	3~7
-----------	--	---	---	---	---	-----

環境科学科

教科	科 目	標準 単位 数	学年別単位数					備考		
			1年	2年		3年			計	
				環境 土木	造園 デザイン	環境 土木	造園 デザイン			
国語	国語総合	4	4					4		
	現代文	4		2	2	2	2	4		
地理 歴史	世界史 A	2				2	2	2		
	地理 A	2		2	2			2		
公民	現代社会	2	2					2		
数学	数学 I	3	3					3		
	数学 A	2		3	3			3		
	数学 B	2				7/2	7/2	0~2	選択	
理科	科学と人間生活	2	2					2		
	物理基礎	2		2	2			2		
	生物基礎	2				2	2	2		
保健 体育	体育	7~8	2	2	2	3	3	7		
	保健	2	1	1	1			2		
芸術	音楽 I	2		7/2	7/2			0~2		
	美術 I	2		7/2	7/2			0~2		
	書道 I	2		7/2	7/2			0~2		
外国 語	英語 I	3	3					3		
	英語 II	4		3	3	1/2	1/2	3~5	3年次は選択	
家庭	家庭基礎	2	3					3		
情報	情報 A	2	(2)						「農業情報処理」 2単位で代替	
普通教科単位数計			20	17	17	9~13	9~13	46~50		
農業	環境科学基礎	2~6	3					3		
	課題研究	2~6		2	2	3	3	5	「総合的な学習の時間」 5単位で代替	
	総合実習	2~12	4	4	4	4	4	12		
	農業情報処理	2~8		2	2	2	2	4	「情報 A」 2単位で代替	
	森林科学	2~6					7/2	7/2	0~2	
	農業土木設計	2~10		2			4	0~6		
	農業土木施工	2~6					4	0~4		
	造園計画	2~10				2		4	0~6	
	造園技術	2~8						4	0~4	
	測量	2~10	2	4	4	4	3	3	9	
	起業実践	学校設定科目		3	3			3		
	工業	製 図	2~11				1/2	1/2	0~2	選択
	専門教科単位数計			11	15	15	18~22	18~22	44~48	
総合的な学習の時間				(2)	(2)	(3)	(3)	(5)	「農業課題研究」 5単位で代替	
ホームルーム週当たり時数			1	1	1	1	3			
単位数及び週当たり時数の合計			32	33	32	32	97			

学校設定科目単位数		3	3		3
-----------	--	---	---	--	---

(注) 総合実習の各学年 4 単位のうち 2 単位及び 2 年次起業実践の 3 単位のうち 1 単位は時間割外に授業を行う。

食品科学科

教科	科 目	標準 単位 数	学年別単位数					備考	
			1年	2年		3年			計
				食品 化学	食品 醸造	食品 化学	食品 醸造		
国語	国語総合	4	4					4	
	現代文	4		2	2	2	2	4	
地理 歴史	世界史A	2				2	2	2	
	地理A	2		2	2			2	
公民	現代社会	2	2					2	
数学	数学I	3	3					3	
	数学A	2		3	3			3	
	数学B	2				72	72	0~2	選択
理科	科学と人間生活	2	2					2	
	化学基礎	2		2	2			2	
	生物基礎	2				2	2	2	
保健 体育	体育	7~8	2	2	2	3	3	7	
	保健	2	1	1	1			2	
芸術	音楽I	2		72	72			0~2	
	美術I	2		72	72			0~2	
	書道I	2		72	72			0~2	
外国 語	英語I	3	3					3	
	英語II	4		3	3	12	12	3~5	3年次は選択
家庭	家庭基礎	2	3					3	
情報	情報A	2	(2)						「農業情報処理」 2単位で代替
普通教科単位数計			20	17	17	9~13	9~13	46~50	
家庭	フードデザイン	2~6				12	12	0~2	選択
	調理	2~18				72	72	0~2	選択
農業	農業科学基礎	2~6	3					3	
	課題研究	2~6		2	2	3	3	5	「総合的な学習の時間」 5単位で代替
	総合実習	2~12	4	4	4	4	4	12	
	農業情報処理	2~8	2			2	2	4	1年次「情報A」 2単位代替
	野菜	2~8		2				0~2	
	果樹	2~8			2		3	0~5	
	食品製造	2~10	2	2	2	3	3	7	
	食品化学	2~8		2		3		0~5	
	微生物基礎	2~6			2	3		2~3	
	動物・微生物 バイオテクノロジー	2~6					3	0~3	
	起業実践	2~6 学校設定科目		3	3				3
専門教科単位数計			11	15	15	18~22	18~22	44~48	
総合的な学習の時間				(2)	(2)	(3)	(3)	(5)	農業「課題研究」 5単位で代替
ホームルーム週当たり時数			1	1	1	1	3		
単位数及び週当たり時数の合計			32	33	32	32	97		

学校設定科目単位数		3	3			3	
-----------	--	---	---	--	--	---	--

動物科学科

教科	科 目	標準 単位 数	学年別単位数					備考	
			1年	2年		3年			計
				産業 動物	社会 動物	産業 動物	社会 動物		
国語	国語総合	4	4					4	
	現代文	4		2	2	2	2	4	
地理 歴史	世界史A	2				2	2	2	
	地理A	2		2	2			2	
公民	現代社会	2	2					2	
数学	数学I	3	3					3	
	数学A	2		3	3			3	
	数学B	2				72	72	0~2	選択
理科	科学と人間生活	2	2					2	
	化学基礎	2					2	2	2
	生物基礎	2		2	2			2	
保健 体育	体育	7~8	2	2	2	3	3	7	
	保健	2	1	1	1			2	
芸術	音楽I	2		72	72			0~2	
	美術I	2		72	72			0~2	
	書道I	2		72	72			0~2	
外国 語	英語I	3	3					3	
	英語II	4		3	3	12	12	3~5	3年次は選択
家庭	家庭基礎	2	3					3	
情報	情報A	2	(2)						「農業情報処理」 2単位で代替
普通教科単位数計			20	17	17	9~13	9~13	46~50	
農業	農業科学基礎	2~6	3					3	
	課題研究	2~6		2	2	3	3	5	「総合的な学習の時間」 5単位で代替
	総合実習	2~12	4	4	4	4	4	12	
	農業情報処理	2~8	2			2	2	4	1年次「情報A」 2単位代替
	畜産	2~12		2	2	4		2~6	
	農業経営	2~6				12	12	0~2	選択
	農業機械	2~6				72	72	0~2	選択
	食品製造	2~10		2		3		0~5	
	動物・微生物 バイオテクノロジー	2~6		2	2	2	2	4	
	アニマルケア	2~6 学校設定科目		2		2		2	2~6
	動物生理生態	2~6 学校設定科目						2	0~2
動物セラピー	2~6 学校設定科目						3	0~3	
起業実践	2~6 学校設定科目		3	3				3	
専門教科単位数計			11	15	15	18~22	18~22	44~48	
総合的な学習の時間				(2)	(2)	(3)	(3)	(5)	農業「課題研究」 5単位で代替
ホームルーム週当たり時数			1	1	1	1	3		
単位数及び週当たり時数の合計			32	33	32	32	97		

学校設定科目単位数		2	3	5	0~2	7~9	5~16
-----------	--	---	---	---	-----	-----	------

(注) 総合実習の各学年4単位のうち2単位及び2年次起業実践の3単位のうち1単位は時間割外に授業を行う。

平成 25 年度入学生  
植物科学科

教科	科 目	標準 単位 数	学年別単位数					備考	
			1年	2年		3年			計
				草花 栽培	作物 栽培	草花 栽培	作物 栽培		
国語	国語総合	4	4					4	
	現代文B	4		2	2	2	2	4	
地理 歴史	世界史A	2				2	2	2	
	地理A	2		2	2			2	
公民	現代社会	2	2					2	
数学	数学I	3	3					3	
	数学A	2		3	3			3	
	数学B	2				7.2	7.2	0~2	選択
理科	科学と人間生活	2	2					2	
	化学基礎	2				2	2	2	
	生物基礎	2		2	2			2	
保健 体育	体育	7	2	2	2	3	3	7	
	保健	2	1	1	1			2	
芸術	音楽I	2		7.2	7.2			0~2	
	美術I	2		7.2	7.2			0~2	
	書道I	2		7.2	7.2			0~2	
外国 語	コミュニケーション英語I	3	3					3	
	コミュニケーション英語II	4		3	3			3	
	英語会話	2				1.2	1.2	0~2	選択
家庭	家庭基礎	2	3					3	
情報	社会と情報	2		(2)	(2)				「農業情報処理」 2単位で代替
共通教科・科目単位数計			20	17	17	9~13	9~13	46~50	
農業	農業と環境	2~6	3					3	
	課題研究	2~6		3	3	3	3	6	総合的な 学習の代替
	総合実習	2~12	4	4	4	4	4	12	
	農業情報処理	2~8		2	2	2	2	4	2年次農業情報処 理は「社会と情報」 2単位を代替
	作物	2~8	2		2		2	2~6	
	野菜	2~8			2		3	0~5	
	草花	2~8		2		3		0~5	
	農業経営	2~6			2	2	2		
	農業機械	2~6					2	0~2	
	植物バイオテクノロジー	2~6	2			2		2~4	
	生物活用	2~6				7.2	7.2	0~2	選択
	グリーンライフ	2~6				1.2	1.2	0~2	選択
	フラワーデザイン	学校設定 科目		2		2		0~4	
専門教科・科目単位数計			11	13	13	18~22	18~22	42~46	
総合的な学習の時間			3~6		1(3)	1(3)	(3)	1(6)	農業「課題研究」 6単位で代替
ホームルーム週当たり時数			1	1		1	3		
単位数及び週当たり時数の合計			32	32		32	96		

学校設定科目単位数	0	2	0	2	0	0~4
-----------	---	---	---	---	---	-----

環境科学科

教科	科 目	標準 単位 数	学年別単位数					備考		
			1年	2年		3年			計	
				環境 土木	造園 デザイン	環境 土木	造園 デザイン			
国語	国語総合	4	4					4		
	現代文B	4		2	2	2	2	4		
地理 歴史	世界史A	2				2	2	2		
	地理A	2		2	2			2		
公民	現代社会	2	2					2		
数学	数学I	3	3					3		
	数学A	2		3	3			3		
	数学B	2				7.2	7.2	0~2	選択	
理科	科学と人間生活	2	2					2		
	物理基礎	2		2	2			2		
	生物基礎	2				2	2	2		
保健 体育	体育	7	2	2	2	3	3	7		
	保健	2	1	1	1			2		
芸術	音楽I	2		7.2	7.2			0~2		
	美術I	2		7.2	7.2			0~2		
	書道I	2		7.2	7.2			0~2		
外国 語	コミュニケーション英語I	3	3					3		
	コミュニケーション英語II	4		3	3			3		
	英語会話	2				1.2	1.2	0~2	選択	
家庭	家庭基礎	2	3					3		
情報	社会と情報	2	(2)						「農業情報処理」 2単位で代替	
共通教科・科目単位数計			20	17	17	9~13	9~13	46~50		
農業	農業と環境	2~6	3					3		
	課題研究	2~6		3	3	2	2	5	総合的な 学習の代替	
	総合実習	2~12	4	4	4	4	4	12		
	農業情報処理	2~8		2	2	2	2	2	「社会と情報」 2単位を代替	
	森林科学	2~8				7.2	7.2	0~2	選択	
	農業土木設計	2~10		2		2		0~4		
	農業土木施工	2~6				4		0~4		
	水循環	2~6				4		0~4		
	造園計画	2~10			2		4	0~6		
	造園技術	2~8					4	0~4		
	環境緑化材料	2~6					2	0~2		
	測量	2~10	2	4	4	2	2	8		
	工業製	図	2~11				1.2	1.2	0~2	選択
専門教科・科目単位数計			11	13	13	18~22	18~22	42~46		
総合的な学習の時間			3~6		1(3)	1(3)	(2)	(2)	1(5)	農業「課題研究」 5単位で代替
ホームルーム週当たり時数			1	1		1	3			
単位数及び週当たり時数の合計			32	32		32	96			

学校設定科目単位数	0	0	0	0	0	0
-----------	---	---	---	---	---	---

(注) 総合実習の各学年4単位のうち2単位は時間割外に授業を行う。

食品科学科

教科	科目	標準 単位数	学年別単位数					備考	
			1年	2年		3年			計
				食品 化学	食品 醸造	食品 化学	食品 醸造		
国語	国語総合	4	4					4	
	現代文B	4		2	2	2	2	4	
地理 歴史	世界史A	2				2	2	2	
	地理A	2		2	2			2	
公民	現代社会	2	2					2	
数学	数学I	3	3					3	
	数学A	2		3	3			3	
	数学B	2				7.2	7.2	0~2	選択
理科	科学と人間生活	2	2					2	
	化学基礎	2		2	2			2	
	生物基礎	2				2	2	2	
保健 体育	体育	7	2	2	2	3	3	7	
	保健	2	1	1	1			2	
芸術	音楽I	2		7.2	7.2			0~2	
	美術I	2		7.2	7.2			0~2	
	書道I	2		7.2	7.2			0~2	
外国 語	コミュニケーション英語I	3	3					3	
	コミュニケーション英語II	4		3	3			3	
	英語会話	2				1.2	1.2	0~2	選択
家庭	家庭基礎	2	3					3	
情報	社会と情報	2	(2)						「農業情報処理」 2単位で代替
共通教科・科目単位数計			20	17	17	9~13	9~13	46~50	
家庭	フードデザイン	2~6				1.2	1.2	0~2	選択
	調理	2~18				7.2	7.2	0~2	選択
農業	農業と環境	2~6	3					3	
	課題研究	2~6		3	3	3	3	6	総合的な学習 の時間の代替
	総合実習	2~12	4	4	4	4	4	12	
	農業情報処理	2~8	2			2	2	4	1年次農業情報処 理は「社会と情報」 2単位を代替
	野菜	2~8		2				0~2	
	果樹	2~8			2		3	0~5	
	食品製造	2~10	2	2	2	3	3	7	
	食品化学	2~8		2		3		0~5	
	微生物利用	2~6			2	3	3	3~5	
専門教科・科目単位数計			11	13	13	18~22	18~22	42~46	
総合的な学習の時間			3~6		1(3)	1(3)	(3)	1(6)	農業「課題研究」 6単位を代替
ホームルーム週当たり時数			1	1		1	3		
単位数及び週当たり時数の合計			32	32		32	96		

学校設定科目単位数	0	0	0	0	0	0
-----------	---	---	---	---	---	---

動物科学科

教科	科目	標準 単位数	学年別単位数					備考	
			1年	2年		3年			計
				産業 動物	社会 動物	産業 動物	社会 動物		
国語	国語総合	4	4					4	
	現代文B	4		2	2	2	2	4	
地理 歴史	世界史A	2				2	2	2	
	地理A	2		2	2			2	
公民	現代社会	2	2					2	
数学	数学I	3	3					3	
	数学A	2		3	3			3	
	数学B	2				7.2	7.2	0~2	選択
理科	科学と人間生活	2	2					2	
	化学基礎	2					2	2	2
	生物基礎	2		2	2			2	
保健 体育	体育	7	2	2	2	3	3	7	
	保健	2	1	1	1			2	
芸術	音楽I	2		7.2	7.2			0~2	
	美術I	2		7.2	7.2			0~2	
	書道I	2		7.2	7.2			0~2	
外国 語	コミュニケーション英語I	3	3					3	
	コミュニケーション英語II	4		3	3			3	
	英語会話	2				1.2	1.2	0~2	選択
家庭	家庭基礎	2	3					3	
情報	社会と情報	2	(2)						「農業情報処理」 2単位で代替
共通教科・科目単位数計			20	17	17	9~13	9~13	46~50	
農業	農業と環境	2~6	3					3	
	課題研究	2~6				3	3	6	総合的な学習 の時間の代替
	総合実習	2~12	4	4	4	4	4	12	
	農業情報処理	2~8	2			2	2	4	1年次農業情報処 理は「社会と情報」 2単位を代替
	畜産	2~12		2	2	4		2~6	
	農業機械	2~6				7.2	7.2	0~2	選択
	食品製造	2~10		2		3		0~5	
	動物バイオテクノロジー	2~6		2	2	2	2	4	
	アニマルケア	学校設定科目	2		2		2	2~6	
	動物生理生態	学校設定科目					2	0~2	
	動物セラピー	学校設定科目					3	0~3	
野生動物保護	学校設定科目				1.2	1.2	0~2	選択	
専門教科・科目単位数計			11	13	13	18~22	18~22	42~46	
総合的な学習の時間			3~6		1(3)	1(3)	(3)	1(6)	農業「課題研究」 6単位を代替
ホームルーム週当たり時数			1	1		1	3		
単位数及び週当たり時数の合計			32	32		32	96		

学校設定科目単位数	2	0	2	0~2	7~9	2~13
-----------	---	---	---	-----	-----	------

(注) 総合実習の各学年4単位のうち2単位は時間割外に授業を行う。

平成 26 年度入学生  
植物科学科

教科	科 目	標準 単位 数	学年別単位数					備考	
			1年	2年		3年			計
				草花 栽培	作物 栽培	草花 栽培	作物 栽培		
国語	国語総合	4	4					4	
	現代文B	4		2	2	2	2	4	
地理 歴史	世界史A	2				2	2	2	
	地理A	2		2	2			2	
公民	現代社会	2	2					2	
数学	数学I	3	3					3	
	数学A	2		3	3			3	
	数学B	2				7.2	7.2	0~2	選択
理科	科学と人間生活	2	2					2	
	化学基礎	2				2	2	2	
	生物基礎	2		2	2			2	
保健 体育	体育	7	2	2	2	3	3	7	
	保健	2	1	1	1			2	
芸術	音楽I	2		7.2	7.2			0~2	
	美術I	2		7.2	7.2			0~2	
	書道I	2		7.2	7.2			0~2	
外国 語	コミュニケーション英語I	3	3					3	
	コミュニケーション英語II	4		3	3			3	
	英語会話	2				1.2	1.2	0.2	選択
家庭	家庭基礎	2	3					3	
情報	社会と情報	2	(2)					(2)	「農業情報処理」 2単位で代替
共通教科・科目単位数計			20	17	17	9~13	9~13	46~50	
農業	農業と環境	2~6	3					3	
	課題研究	2~6		3	3	3	3	6	総合的な 学習の代替
	総合実習	2~12	4	4	4	4	4	12	
	農業情報処理	2~8	2			2	2	4	2年次農業情報処 理は「社会と情報」 2単位を代替
	作物	2~8			2		2	0~4	
	野菜	2~8			2		3	0~5	
	草花	2~8	2	2		3		2~7	
	農業経営	2~6				2	2	2	
	農業機械	2~6					2	0~2	
	植物バイオテクノロジー	2~6		2	2	2		2~4	
	生物活用	2~6				7.2	7.2	0~2	選択
	グリーンライフ	2~6				1.2	1.2	0~2	選択
	フラワーデザイン	学校設定科目		2		2		0~4	
専門教科・科目単位数計			11	13	13	18~22	18~22	42~46	
総合的な学習の時間			3~6		1(3)	1(3)	(3)	1(6)	農業「課題研究」 6単位で代替
ホームルーム週当たり時数			1	1		1	3		
単位数及び週当たり時数の合計			32	32		32	96		

学校設定科目単位数	0	2	0	2	0	0~4
-----------	---	---	---	---	---	-----

環境科学科

教科	科 目	標準 単位 数	学年別単位数					備考		
			1年	2年		3年			計	
				環境 土木	造園 デザイン	環境 土木	造園 デザイン			
国語	国語総合	4	4					4		
	現代文B	4		2	2	2	2	4		
地理 歴史	世界史A	2				2	2	2		
	地理A	2		2	2			2		
公民	現代社会	2	2					2		
数学	数学I	3	3					3		
	数学A	2		3	3			3		
	数学B	2				7.2	7.2	0~2	選択	
理科	科学と人間生活	2	2					2		
	物理基礎	2		2	2			2		
	生物基礎	2				2	2	2		
保健 体育	体育	7	2	2	2	3	3	7		
	保健	2	1	1	1			2		
芸術	音楽I	2		7.2	7.2			0~2		
	美術I	2		7.2	7.2			0~2		
	書道I	2		7.2	7.2			0~2		
外国 語	コミュニケーション英語I	3	3					3		
	コミュニケーション英語II	4		3	3			3		
	英語会話	2				1.2	1.2	0~2	選択	
家庭	家庭基礎	2	3					3		
情報	社会と情報	2	(2)					(2)	「農業情報処理」 2単位で代替	
共通教科・科目単位数計			20	17	17	9~13	9~13	46~50		
農業	農業と環境	2~6	3					3		
	課題研究	2~6		3	3	2	2	5	総合的な 学習の代替	
	総合実習	2~12	3	3	3	3	3	9		
	農業情報処理	2~8	2					2	「社会と情報」 2単位を代替	
	森林科学	2~8				7.2	7.2	0~2	選択	
	農業土木設計	2~10		2		2		0~4		
	農業土木施工	2~6				4		0~4		
	水循環	2~6				4		0~4		
	造園計画	2~10			2		4	0~6		
	造園技術	2~8					4	0~4		
	環境緑化材料	2~6					2	0~2		
	測量	2~10	2	4	4	2	2	8		
	工業製	図	2~11				1.2	1.2	0~2	選択
専門教科・科目単位数計			10	12	12	17~21	17~21	39~43		
総合的な学習の時間			3~6		1(3)	1(3)	(2)	(2)	1(5)	農業「課題研究」 5単位で代替
ホームルーム週当たり時数			1	1		1	3			
単位数及び週当たり時数の合計			32	32		32	96			

学校設定科目単位数	0	0	0	0	0	0
-----------	---	---	---	---	---	---

(注) 総合実習の各学年4単位のうち2単位は時間割外に授業を行う。  
(注) 環境科学科の総合実習の各学年3単位のうち1単位は時間割外に授業を行う。

食品科学科

教科	科目	標準 単位数	学年別単位数					備考		
			1年	2年		3年			計	
				食品 化学	食品 醸造	食品 化学	食品 醸造			
国語	国語総合	4	4					4		
	現代文B	4		2	2	2	2	4		
地理 歴史	世界史A	2				2	2	2		
	地理A	2		2	2			2		
公民	現代社会	2	2					2		
数学	数学I	3	3					3		
	数学A	2		3	3			3		
	数学B	2				7.2	7.2	0~2	選択	
理科	科学と人間生活	2	2					2		
	化学基礎	2		2	2			2		
	生物基礎	2				2	2	2		
保健 体育	体育	7	2	2	2	3	3	7		
	保健	2	1	1	1			2		
芸術	音楽I	2		7.2	7.2			0~2		
	美術I	2		7.2	7.2			0~2		
	書道I	2		7.2	7.2			0~2		
外国 語	コミュニケーション英語I	3	3					3		
	コミュニケーション英語II	4		3	3			3		
	英語会話	2				1.2	1.2	0~2	選択	
家庭	家庭基礎	2	3					3		
情報	社会と情報	2	(2)					(2)	「農業情報処理」 2単位で代替	
共通教科・科目単位数計			20	17	17	9~13	9~13	46~50		
家庭	フードデザイン	2~6				1.2	1.2	0~2	選択	
	調理	2~18				7.2	7.2	0~2	選択	
農業	農業と環境	2~6	3					3	総合的な学習 の時間の代替  1年次農業情報処 理は「社会と情報」 2単位を代替	
	課題研究	2~6		3	3	3	3	6		
	総合実習	2~12	4	4	4	4	4	12		
	農業情報処理	2~8	2			2	2	4		
	野菜	2~8		2				0~2		
	果樹	2~8				2		0~5		
	食品製造	2~10	2	2	2	3	3	7		
	食品化学	2~8		2			3	0~5		
	微生物利用	2~6				2	3	3~5		
専門教科・科目単位数計			11	13	13	18~22	18~22	42~46		
総合的な学習の時間			3~6		1(3)	1(3)	(3)	(3)	1(6)	農業「課題研究」 5単位を代替
ホームルーム週当たり時数			1	1		1		3		
単位数及び週当たり時数の合計			32	32		32		96		

学校設定科目単位数	0	0	0	0	0	0
-----------	---	---	---	---	---	---

動物科学科

教科	科目	標準 単位数	学年別単位数					備考				
			1年	2年		3年			計			
				産業 動物	社会 動物	産業 動物	社会 動物					
国語	国語総合	4	4					4				
	現代文B	4		2	2	2	2	4				
地理 歴史	世界史A	2				2	2	2				
	地理A	2		2	2			2				
公民	現代社会	2	2					2				
数学	数学I	3	3					3				
	数学A	2		3	3			3				
	数学B	2						7.2	7.2	0~2		
理科	科学と人間生活	2	2					2				
	化学基礎	2						2	2	2		
	生物基礎	2		2	2			2	2	2		
保健 体育	体育	7	2	2	2	3	3	7				
	保健	2	1	1	1			2				
芸術	音楽I	2		7.2	7.2			0~2				
	美術I	2		7.2	7.2			0~2				
	書道I	2		7.2	7.2			0~2				
外国 語	コミュニケーション英語I	3	3					3				
	コミュニケーション英語II	4		3	3			3				
	英語会話	2						1.2	1.2	0~2		
家庭	家庭基礎	2	3					3				
情報	社会と情報	2	(2)					(2)	「農業情報処理」 2単位で代替			
共通教科・科目単位数計			20	17	17	9~13	9~13	46~50				
農業	農業と環境	2~6	3					3	総合的な学習 の時間の代替  1年次農業情報処 理は「社会と情報」 2単位を代替			
	課題研究	2~6						3		3	3	6
	総合実習	2~12	4	4	4	4	4	4		4	4	12
	農業情報処理	2~8	2					2		2	2	4
	畜産	2~12		2	2	4						2~6
	農業機械	2~6					7.2	7.2				0~2
	食品製造	2~10		2				3				0~5
	動物バイオテクノロジー	2~6		2	2	2	2	2		2	2	4
	アニマルケア	学校設定科目	2				2				2	2~6
	動物生理生態	学校設定科目									2	0~2
	動物セラピー	学校設定科目									3	0~3
野生動物保護	学校設定科目						1.2	1.2		0~2		
専門教科・科目単位数計			11	13	13	18~22	18~22	42~46				
総合的な学習の時間			3~6		1(3)	1(3)	(3)	(3)	1(6)	農業「課題研究」 6単位を代替		
ホームルーム週当たり時数			1	1		1		3				
単位数及び週当たり時数の合計			32	32		32		96				

学校設定科目単位数	2	0	2	0~2	7~9	2~13
-----------	---	---	---	-----	-----	------

(注) 総合実習の各学年4単位のうち2単位は時間割外に授業を行う。

# 耕魂 育命

見つけよう 自分の力の可能性



出雲農林高校公式キャラクター  
「モーリン」

## 平成26年度 学校要覧

島根県立出雲農林高等学校  
〒693-0046 出雲市下横町950番地  
ホームページ  
<http://www.izuno.ed.jp/>

代 表 ☎0853-28-0321  
進 路 指 導 室 ☎0853-28-2875  
動 物 科 学 管 理 室 ☎0853-28-0860  
植 物 ・ 環 境 管 理 室 ☎0853-28-0322  
食 品 科 学 管 理 室 ☎0853-28-3155  
FAX0853-28-0355